



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月4日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員・管理統括部長兼研究部門担当 (氏名) 佐野 俊之

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	116,422	5.1	12,245	29.6	10,411	21.1	5,508	110.2
22年3月期第2四半期	110,769	△10.8	9,448	△25.8	8,600	△34.4	2,620	△65.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	29.05	—
22年3月期第2四半期	13.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	195,598	106,972	49.9	514.42
22年3月期	184,774	109,663	53.9	525.58

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 97,545百万円 22年3月期 99,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	10.00	10.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	5.6	20,500	16.6	18,000	△1.3	10,000	20.1	52.73

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	199,962,991株	22年3月期	199,962,991株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	10,341,063株	22年3月期	10,331,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	189,627,437株	22年3月期2Q	189,657,571株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 企業結合等に関する注記	12
4. 補足情報	14
(1) 連結分類別売上高明細表	14
(2) 海外売上高	15
(3) 在外子会社為替換算レート	15
(4) セグメント売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、景気は緩やかに回復しているものの、依然として失業率が高水準で推移し、欧米を中心とした景気下振れ懸念も見られるなど、引き続き厳しい状況が続きました。日本経済におきましても、景気は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しなどが見られましたが、デフレの影響や円高の進行などにより、依然として厳しい状況にありました。

スポーツ用品業界につきましては、健康志向によるスポーツへの関心の高まりが見られたものの、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、引き続きグローバルレベルでのランニング事業の強化・拡大を図るとともに、「ゴールドコーストマラソン」におけるオフィシャルスポンサーとしての協賛や、新たに「ストックホルムマラソン」においてタイトルスポンサーになるなど、企業イメージの向上およびブランド力の強化に努めました。

また、グローバル規模での事業拡大を目指し、スウェーデンに本社を置くアウトドア事業を営むログロフスホールディングABおよびその子会社ならびにカナダにおける販売代理店であるAgence Québec Plus Ltéeおよびその子会社の全株式を取得し、連結子会社としました。

販売面におきましては、スペインにおける旗艦店として「オニツカタイガーマドリッド」をオープンするなど、販売体制の強化に努めました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,164億2千2百万円と前年同期比5.1%の増収でした。このうち国内売上高は、主にスポーツスタイルシューズおよびアスレチックウエアが低調であったため、414億4千5百万円と前年同期比7.3%の減収でした。海外売上高は、欧州、米州およびオーストラリアでランニングシューズが好調に推移しましたので、749億7千7百万円と前年同期比13.5%の増収となりました。損益につきましては、主として海外における売上高の増加および原価率の改善により、営業利益は122億4千5百万円と前年同期比29.6%の増益となりました。経常利益は為替差損20億5千6百万円（個別業績における影響額24億7千5百万円）を計上しましたが、104億1千1百万円と前年同期比21.1%の増益、四半期純利益は55億8百万円となり、前年同期間に過年度法人税等を計上したことにより前年同期比110.2%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産1,955億9千8百万円（前連結会計年度末比5.9%増）、負債の部合計886億2千5百万円（前連結会計年度末比18.0%増）、純資産の部合計1,069億7千2百万円（前連結会計年度末比2.5%減）となりました。

またキャッシュ・フローにおきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、319億3千6百万円と前連結会計年度末に比べ18億4千万円減少しました。

なお、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は134億6千7百万円となり、前年同期間に比べ51億2百万円の収入増加となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益98億7千7百万円、売上債権の減少額37億2千3百万円、減価償却費18億9百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額27億7千2百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は159億5千2百万円となり、前年同期間に比べ114億2千9百万円の支出増加となりました。

支出の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出137億2千8百万円（被取得企業の現金及び現金同等物を除く）、有形固定資産の取得による支出24億5千1百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は51億1千2百万円となり、前年同期間に比べ50億8千3百万円の収入増加となりました。

収入の主な内訳は、社債の発行による収入48億8千5百万円、長期借入れによる収入25億円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額18億9千3百万円、長期借入金の返済による支出7億5千4百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況に加え、ホグロフスホールディングABおよびその子会社ならびにAgence Québec Plus Ltéeおよびその子会社を当社の連結子会社としたことにより、下記のとおり修正いたします。

売上高につきましては、国内は予想を下回る見込みですが、海外では堅調に推移していることに加え、上記の新規連結子会社の影響により、前回発表数値を上回る見込みです。

営業利益につきましては、海外は若干予想を上回る見込みですが、国内の売上高が予想を下回る影響により、全体では前回発表数値から修正していません。

経常利益および当期純利益につきましては、主に為替差損の影響によりそれぞれ前回予想を下回る見込みです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	231,000	20,500	20,500	11,500	60 64
今回修正予想 (B)	237,000	20,500	18,000	10,000	52 73
増減額 (B - A)	6,000	—	△2,500	△1,500	—
増減率 (%)	2.6	—	△12.2	△13.0	—

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,670	33,436
受取手形及び売掛金	51,897	56,744
有価証券	2,568	3,130
商品及び製品	35,050	34,430
仕掛品	336	305
原材料及び貯蔵品	1,194	1,037
繰延税金資産	4,523	4,459
その他	5,538	4,635
貸倒引当金	△1,725	△2,193
流動資産合計	131,056	135,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,433	28,427
減価償却累計額	△19,040	△19,055
建物及び構築物（純額）	12,392	9,371
機械装置及び運搬具	4,529	4,107
減価償却累計額	△3,191	△3,212
機械装置及び運搬具（純額）	1,337	894
工具、器具及び備品	8,847	8,617
減価償却累計額	△7,013	△6,865
工具、器具及び備品（純額）	1,833	1,752
土地	10,348	10,375
リース資産	1,348	1,000
減価償却累計額	△511	△253
リース資産（純額）	836	747
建設仮勘定	521	2,317
有形固定資産合計	27,271	25,458
無形固定資産		
のれん	6,478	—
その他	13,242	6,007
無形固定資産合計	19,721	6,007
投資その他の資産		
投資有価証券	6,207	7,023
長期貸付金	620	632
繰延税金資産	1,718	1,298
その他	10,524	9,843
貸倒引当金	△1,519	△1,476
投資その他の資産合計	17,550	17,321
固定資産合計	64,542	48,786
資産合計	195,598	184,774

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,213	20,882
短期借入金	9,912	9,238
リース債務	371	311
未払費用	6,715	6,885
未払法人税等	2,010	1,590
未払消費税等	578	553
返品調整引当金	452	708
賞与引当金	1,727	1,470
繰延税金負債	598	0
資産除去債務	32	—
その他	7,007	5,832
流動負債合計	48,620	47,474
固定負債		
社債	16,000	11,000
長期借入金	6,091	3,450
リース債務	669	667
退職給付引当金	7,968	7,627
繰延税金負債	3,804	979
資産除去債務	426	—
その他	5,044	3,910
固定負債合計	40,005	27,635
負債合計	88,625	75,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	75,316	71,658
自己株式	△7,788	△7,780
株主資本合計	108,682	105,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	727	1,285
繰延ヘッジ損益	1,764	△232
在外子会社資産再評価差額金	518	565
為替換算調整勘定	△14,147	△6,984
評価・換算差額等合計	△11,137	△5,365
少数株主持分	9,427	9,997
純資産合計	106,972	109,663
負債純資産合計	195,598	184,774

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	110,769	116,422
売上原価	64,078	65,118
返品調整引当金戻入額	669	557
返品調整引当金繰入額	478	349
売上総利益	46,883	51,512
販売費及び一般管理費	37,434	39,266
営業利益	9,448	12,245
営業外収益		
受取利息	183	207
受取配当金	553	104
デリバティブ評価益	171	—
その他	381	340
営業外収益合計	1,290	651
営業外費用		
支払利息	255	218
為替差損	1,673	2,056
その他	209	211
営業外費用合計	2,139	2,486
経常利益	8,600	10,411
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	19	151
特別利益合計	23	152
特別損失		
固定資産売却損	9	11
固定資産除却損	8	99
投資有価証券評価損	259	166
投資有価証券償還損	—	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	377
特別損失合計	277	686
税金等調整前四半期純利益	8,346	9,877
法人税等	3,356	4,004
過年度法人税等	1,936	—
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,872
少数株主利益	432	363
四半期純利益	2,620	5,508

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,346	9,877
減価償却費	1,533	1,809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	369	△279
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	351	456
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54	73
投資有価証券評価損益 (△は益)	259	166
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	31
受取利息及び受取配当金	△737	△311
支払利息	255	218
為替差損益 (△は益)	198	896
有形固定資産除売却損益 (△は益)	17	110
その他の損益 (△は益)	1,691	1,867
売上債権の増減額 (△は増加)	2,832	3,723
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,639	△1,213
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,322	388
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,704	△1,034
未払消費税等の増減額 (△は減少)	113	101
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,385	△744
小計	13,155	16,139
利息及び配当金の受取額	737	316
利息の支払額	△256	△215
法人税等の支払額	△5,271	△2,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,365	13,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	△40
定期預金の払戻による収入	734	—
有形固定資産の取得による支出	△2,312	△2,451
有形固定資産の除却による支出	—	△8
有形固定資産の売却による収入	32	45
無形固定資産の取得による支出	△116	△232
有価証券の純増減額 (△は増加)	△69	△32
投資有価証券の取得による支出	△971	△58
投資有価証券の売却及び償還による収入	40	449
子会社株式の取得による支出	△65	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,020	△13,728
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	30	8
長期貸付けによる支出	△16	△25
長期貸付金の回収による収入	39	30
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	271	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,522	△15,952

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,295	772
長期借入れによる収入	850	2,500
長期借入金の返済による支出	△676	△754
社債の発行による収入	—	4,885
自己株式の取得による支出	△19	△7
自己株式の売却による収入	0	0
少数株主からの払込みによる収入	4	—
リース債務の返済による支出	△170	△159
配当金の支払額	△1,900	△1,893
少数株主への配当金の支払額	△353	△231
財務活動によるキャッシュ・フロー	28	5,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,499	△4,468
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,370	△1,840
現金及び現金同等物の期首残高	22,575	33,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,946	31,936

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項がないため記載しておりません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法および販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のスポーツ用品を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	46,382	27,576	28,066	8,743	110,769	—	110,769
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,626	3	—	490	5,119	(5,119)	—
計	51,009	27,579	28,066	9,233	115,889	(5,119)	110,769
営業利益	1,875	1,656	4,436	1,142	9,111	336	9,448

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

② 各区分に属する国又は地域……………米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

その他の地域：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	米州	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	27,576	27,722	10,744	66,043
II 連結売上高（百万円）				110,769
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合（%）	24.9	25.0	9.7	59.6

(注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

② 各区分に属する主な国又は地域……………米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

その他の地域：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においては当社が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、アジア・パシフィックの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパ B.V.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

なお、当社グループは、従来「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」および「アジア・パシフィック地域」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当第2四半期連結会計期間より、「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「アジア・パシフィック地域」および「その他事業」の5つを報告セグメントに変更しております。この変更は、ホグロフスホールディングABの株式を取得したことによるものであります。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」および「アジア・パシフィック地域」は、主にスポーツ用品等を製造販売しており、「その他事業」は、「ホグロフス」ブランドのアウトドア用品の企画開発・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ パシフィック	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	43,845	31,517	29,212	11,846	116,422	—	116,422
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,176	0	—	446	6,623	(6,623)	—
計	50,022	31,517	29,212	12,292	123,045	(6,623)	116,422
セグメント利益	1,915	2,672	5,480	2,285	12,353	(107)	12,245

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は、第2四半期連結累計期間において売上高およびセグメント利益が生じていないため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

(のれんの金額の重要な変動)

「米州地域」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるアシックスアメリカコーポレーションは、Agence Québec Plus Ltéeの全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において988百万円であります。

また、「その他事業」セグメントにおいて、当社は、ホグロフスホールディングABの全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において4,309百万円であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項がないため記載しておりません。

(7) 企業結合等に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）
取得による企業結合

1. ホグロフスホールディングAB株式の取得

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得した議決権比率及び取得企業を決定するに至った主な根拠

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ホグロフスホールディングAB
事業の内容 アウトドア用品の企画開発・販売事業

②企業結合を行った主な理由

当社・被取得企業グループの経営資源、技術、ノウハウ、製造拠点、販売網等を総合的に活用することによりシナジー効果を発揮し、企業価値を向上させるため

③企業結合日

平成22年8月20日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

ホグロフスホールディングAB

⑥取得した議決権比率

取得前の議決権比率 0%

取得後の議決権比率 100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の100%を獲得したため

(2) 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間の連結損益計算書は、ホグロフスホールディングABの業績を含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	企業結合日におけるホグロフスホールディングABの株式の時価	11,837百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	222百万円
取得原価		12,059百万円

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳、発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 3,150百万円
固定資産 8,789百万円
のれん 2,316百万円
資産合計 14,257百万円

流動負債 1,402百万円
固定負債 2,787百万円
負債合計 4,190百万円

②発生したのれんの金額

1,993百万円

③発生原因

企業結合時の時価純資産が、取得原価を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

④償却方法及び償却期間

20年間で均等償却

(5) 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

金額の重要性が乏しいため、記載は省略しております。

2. Agence Québec Plus Ltée株式の取得

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得した議決権比率及び取得企業を決定するに至った主な根拠

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Agence Québec Plus Ltée
事業の内容 スポーツ用品の販売事業

②企業結合を行った主な理由

被取得企業の経営資源、ノウハウ、販売網を活用することにより、北米地域における販売力を強化するため

③企業結合日

平成22年8月31日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

Agence Québec Plus Ltée (平成22年10月27日付でアシックスカナダコーポレーションに名称変更)

⑥取得した議決権比率

取得前の議決権比率 0%

取得後の議決権比率 100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社の連結子会社であるアシックスアメリカコーポレーションが議決権の100%を獲得したため

(2) 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間の連結損益計算書は、Agence Québec Plus Ltéeの業績を含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	企業結合日におけるAgence Québec Plus Ltéeの株式の時価	2,852百万円
取得原価		2,852百万円

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳、発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 2,423百万円
固定資産 1,108百万円
資産合計 3,532百万円

流動負債 1,357百万円
固定負債 311百万円
負債合計 1,668百万円

②発生したのれんの金額

988百万円

③発生原因

企業結合時の時価純資産が、取得原価を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

④償却方法及び償却期間

5年7ヶ月間で均等償却

(5) 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

金額の重要性が乏しいため、記載は省略しております。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	23,581	21.3	22,158	19.0	△1,423	△6.0
	海外	59,495	53.7	68,176	58.6	8,681	14.6
	計	83,076	75.0	90,335	77.6	7,258	8.7
スポーツウエア類	国内	14,248	12.9	12,734	11.0	△1,513	△10.6
	海外	5,619	5.1	5,670	4.8	51	0.9
	計	19,867	18.0	18,404	15.8	△1,462	△7.4
スポーツ用具類	国内	6,896	6.2	6,553	5.6	△343	△5.0
	海外	929	0.8	1,129	1.0	200	21.6
	計	7,825	7.0	7,682	6.6	△142	△1.8
合計	国内	44,726	40.4	41,445	35.6	△3,280	△7.3
	海外	66,043	59.6	74,977	64.4	8,933	13.5
	計	110,769	100	116,422	100	5,652	5.1

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウエア類：トレーニングウエア、アスレチックウエア、スクールスポーツウエア、ベースボールウエア、スイムウエア、スポーツスタイルウエア、アウトドアウエア、スキーウエア、スノーボードウエア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、テーピング、サポーター、栄養補助食品、陸上競技用機器等

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高（百万円）	31,517	28,917	14,541	74,977
II 連結売上高（百万円）				116,422
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	27.1	24.8	12.5	64.4

（注）1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

② 各区分に属する主な国又は地域…米州：米国等

欧州：オランダ、イタリア、ドイツ、イギリス、フランス等

アジア・パシフィック：オーストラリア、韓国、中国、台湾等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW
22年3月期第2四半期（円）	95.27	128.25	67.94	0.0712
23年3月期第2四半期（円）	91.17	121.05	80.96	0.0782
増 減 （円）	△4.10	△7.20	+13.02	+0.0070
増 減 比 （%）	△4.3	△5.6	+19.2	+9.8

（注）上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) セグメント売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日 本	米 州	欧 州	アジア・ パシフィック
売上高増減比 （%）	（外貨）	—	+19.4	+10.3	—
	（邦貨）	△1.9	+14.3	+4.1	+33.1
セグメント利益増減比（%）	（外貨）	—	+70.8	+39.5	—
	（邦貨）	+2.1	+61.3	+23.5	+100.0
セグメント利益率 （%）		3.8	8.5	18.8	18.6